

7 労働組合からの賞与の要求状況

(1) 年間臨給状況

労働組合のある企業のうち、昨年の冬と今年の夏の「賞与の要求交渉を行った企業」は74.5%（前年 80.2%）である。これらの企業について、年間臨給状況をみると、「各期型」が47.2%（同 43.1%）と最も多く、次いで「夏冬型」が42.4%（同 47.3%）となっている。（第10表）

第10表 企業規模、年間臨給状況別企業割合

年、企業規模	賞与の要求交渉を行った企業 ¹⁾		年間臨給状況					
			各期型	夏冬型	冬夏型	その他	不明	
平成 29 年								
計	[74.5]	100.0	47.2	42.4	4.9	4.9	0.7	
5,000人以上	[76.4]	100.0	27.8	66.3	3.9	2.0	-	
1,000～4,999人	[72.2]	100.0	41.6	45.5	6.7	6.3	-	
300～999人	[66.7]	100.0	39.8	48.0	2.6	9.5	-	
100～299人	[79.2]	100.0	52.4	38.2	5.6	2.6	1.1	
平成 28 年								
計	[80.2]	100.0	43.1	47.3	4.0	5.6	-	
5,000人以上	[70.9]	100.0	27.0	63.5	5.2	4.4	-	
1,000～4,999人	[72.1]	100.0	36.3	53.6	5.9	4.2	-	
300～999人	[82.8]	100.0	42.8	45.5	3.7	8.0	-	
100～299人	[81.4]	100.0	45.4	46.1	3.6	4.9	-	

注：1) [] 内は、労働組合のある企業に占める賞与の要求交渉を行った企業の割合である。

(2) 年間臨給状況が「各期型」又は「その他」の企業における賞与要求交渉の状況

労働組合のある企業で、昨年の冬と今年の夏の「賞与の要求交渉を行った企業」のうち、『年間臨給状況が「各期型」又は「その他」の企業』についてみると、「昨年の冬の賞与要求交渉を行った企業」は47.0%（前年 46.1%）、「今年の夏の賞与要求交渉を行った企業」は45.3%（同 41.8%）となっている。また、「1人平均賞与要求額」及び「1人平均賞与要求月数」は、昨年の冬の賞与で、それぞれ624,305円（同 706,723円）、2.38か月（同2.52か月）となっており、今年の夏の賞与では、それぞれ652,268円（同673,650円）、2.40か月（同2.42か月）となっている。（第11表）

第11表 企業規模別昨年の冬・今年の夏の賞与の要求交渉を行った企業割合、1人平均賞与要求額及び1人平均賞与要求月数

年、企業規模	賞与の要求交渉を行った企業 ¹⁾ (%)		年間臨給状況が「各期型」又は「その他」の企業 ²⁾ (%)	昨年の冬の賞与要求交渉を行った企業 ³⁾ (%)	昨年の冬の賞与要求交渉の状況		今年の夏の賞与要求交渉を行った企業 ⁴⁾ (%)	今年の夏の賞与要求交渉の状況	
					1人平均賞与要求額 (円)	1人平均賞与要求月数 (月)		1人平均賞与要求額 (円)	1人平均賞与要求月数 (月)
平成 29 年									
計	[74.5]	100.0	52.1	47.0	624,305	2.38	45.3	652,268	2.40
5,000人以上	[76.4]	100.0	29.8	25.9	706,549	2.73	23.6	722,656	2.69
1,000～4,999人	[72.2]	100.0	47.9	43.2	674,389	2.25	43.3	674,629	2.37
300～999人	[66.7]	100.0	49.4	46.6	595,094	2.37	44.1	668,601	2.35
100～299人	[79.2]	100.0	55.1	48.8	516,027	2.14	47.1	484,027	2.09
平成 28 年									
計	[80.2]	100.0	48.7	46.1	706,723	2.52	41.8	673,650	2.42
5,000人以上	[70.9]	100.0	31.4	24.6	741,066	2.74	24.6	717,136	2.66
1,000～4,999人	[72.1]	100.0	40.5	31.8	748,074	2.53	30.6	713,932	2.53
300～999人	[82.8]	100.0	50.9	48.2	676,354	2.40	47.5	636,092	2.26
100～299人	[81.4]	100.0	50.3	49.2	604,863	2.41	42.5	545,177	2.18

注：1) [] 内は、労働組合のある企業に占める賞与の要求交渉を行った企業の割合である。

2) 『年間臨給状況が「各期型」又は「その他」の企業』とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める年間臨給状況が「各期型」又は「その他」の企業の割合である。

3) 「昨年の冬の賞与要求交渉を行った企業」とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める昨年の冬の賞与要求額又は要求月数の要求があった企業の割合である。

4) 「今年の夏の賞与要求交渉を行った企業」とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める今年の夏の賞与要求額又は要求月数の要求があった企業の割合である。

(3) 年間臨給状況が「夏冬型」又は「冬夏型」の企業における賞与要求交渉及び妥結状況

労働組合のある企業で、昨年の冬と今年の夏の「賞与の要求交渉を行った企業」のうち、『年間臨給状況が「夏冬型」又は「冬夏型」の企業』についてみると、「年間要求交渉を行った企業」は46.6%（前年49.9%）で、「1人平均年間賞与要求額」及び「1人平均年間賞与要求月数」は、それぞれ1,455,254円（同1,516,084円）、4.95か月（同5.24か月）となっている。

また、「妥結した企業」は42.5%（同42.6%）、「1人平均年間賞与妥結額」及び「1人平均年間賞与妥結月数」は、それぞれ1,574,178円（同1,616,270円）、4.58か月（同4.89か月）となっている。（第12表）

第12表 企業規模別年間賞与要求交渉を行った企業、妥結した企業割合、
1人平均年間賞与要求額・要求月数及び1人平均年間賞与妥結額・妥結月数

年、企業規模	賞与の要求交渉を行った企業 ¹⁾ (%)		年間臨給状況が「夏冬型」又は「冬夏型」の企業 ²⁾ (%)	年間要求交渉を行った企業 ³⁾ (%)	要求状況		妥結した企業 ⁴⁾ (%)	妥結状況	
					1人平均年間賞与要求額 (円)	1人平均年間賞与要求月数 (月)		1人平均年間賞与妥結額 (円)	1人平均年間賞与妥結月数 (月)
					平成29年				
計	[74.5]	100.0	47.3	46.6	1,455,254	4.95	42.5	1,574,178	4.58
5,000人以上	[76.4]	100.0	70.2	64.6	1,625,402	5.45	62.2	1,799,267	5.05
1,000～4,999人	[72.2]	100.0	52.1	47.7	1,520,741	4.69	46.7	1,467,507	4.40
300～999人	[66.7]	100.0	50.6	50.5	1,279,420	4.46	48.0	1,191,749	4.21
100～299人	[79.2]	100.0	43.8	43.8	1,128,710	4.21	38.3	1,135,419	4.02
平成28年									
計	[80.2]	100.0	51.3	49.9	1,516,084	5.24	42.6	1,616,270	4.89
5,000人以上	[70.9]	100.0	68.6	56.7	1,754,725	5.78	54.6	1,916,301	5.21
1,000～4,999人	[72.1]	100.0	59.5	55.0	1,518,042	5.10	50.9	1,537,551	4.96
300～999人	[82.8]	100.0	49.1	47.2	1,430,123	4.92	45.7	1,335,283	4.58
100～299人	[81.4]	100.0	49.7	49.7	1,031,180	4.68	38.9	1,088,908	4.38

注：1) []内は、労働組合のある企業に占める賞与の要求交渉を行った企業の割合である。

2) 『年間臨給状況が「夏冬型」又は「冬夏型」の企業』とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める年間臨給状況が「夏冬型」又は「冬夏型」の企業の割合である。

3) 「年間要求交渉を行った企業」とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める年間賞与要求額又は要求月数の要求があった企業の割合である。

4) 「妥結した企業」とは、賞与の要求交渉を行った企業に占める年間要求交渉を行い、年間賞与妥結額又は妥結月数の妥結があった企業の割合である。